

和気小学校 新しい学校様式(新型コロナウイルス感染症対策)

自分と家族や身近な人々の命を守るための行動がとれるよう、継続的に指導します

①感染源を断つ対策

- 登校時、校舎外で児童の検温結果・健康状態を把握します。
- 発熱等のかぜ症状がある場合は、早退とします。

②感染経路を断つ対策

- 外から校内に入ったとき、トイレ後、給食前後、鼻をかんだ後、長、昼休み後、共用物使用后、掃除後の手洗いを徹底します。
- 毎日、ドアノブ・スイッチ・蛇口等よくさわるか所、共用物品等の消毒を行います。
- 汚れたマスク等は袋に入れて持ち帰り、自宅で捨てるよう指導します。

③抵抗力を高める対策

- 十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事により抵抗力・免疫力を高める指導を家庭と協力して行います。

④密閉の回避

- 教室の窓、廊下の窓を常時開け換気し、密閉を回避します。
- 体育館は、常時換気します。

⑤密集の回避

- 登下校時は、前後の間を開け、1列で私語を控えるよう継続的に指導します。
- 教室の机の場所にしるしをつけ、児童間は1メートル以上間隔を空けます。
- 至近距離でのペア・グループ活動はしません。

⑥密接の回避

- 学校内ではマスクの着用を基本とします。マスクはひもを持って外し、外した時はナイロン袋に入れて清潔を保つよう指導します。

⑦学習時について

- 児童同士の物の貸し借りは行いません。
- 物の共用は可能な限り避けます。共用した時は手洗いを徹底します。
- 理科室での学習はフェイスシールドを着用し、私語をせず、短時間で行います。
- 体育時の更衣は、密を避け分散します。体育は、熱中症に注意しながら可能な限り屋外で行います。児童が密集する活動は、当面行いません。マスクをはずして運動するときは、十分な間隔を空けて行います。
- 音楽では、室内の近距離での歌やりコーダー・鍵盤ハーモニカの楽器演奏は当面行いません。

⑧給食

- 給食当番の健康チェック、手洗い、消毒、服装の確認をします。配膳は手袋をはめて児童が行い、自分の食器は自分で持ち運びます。低学年の配膳は、教職員が行うことを基本とします。
- 給食前に机や配膳台を清拭します。
- 量を減らすことやお代わりすることはせず、時間が来たら、密を避けて片づけます。食後の歯磨きはしません。
- 飲み終わった牛乳パックは、折りたたんで自分で片づけます。
- 食事前に手を洗い、机は前向きで会話を控え、食べ終わったら自分で食器を片づけ、手洗いをして座って待ち、全員が着席したら、「ごちそう様」をして次の活動に移ります。
- 配膳車の運搬は、教職員が行います。

⑨図書館

- 利用の前後には手洗いするよう指導します。
- 利用時間を分散し、密集を防ぎます。
- 本は、表面の消毒後1日放置、または3日放置してから書架に戻します。

⑩掃除

- 放課後、当番がほうき・モップで行い、掃除後の手洗い、用具の消毒を徹底します。

⑪長・昼休み

- 使用トイレの分散、足型に並んで待つ、私語を慎む等指導し、利用時間の分散に努めます。
- 体育館・運動場は使用割に沿って使用し、密集を避けます。
- 休み時間後の手洗いを徹底します。



今日の返却場所
(1日放置する)

昨日の返却場所
返しません。さわ
りません。
(放置2日目)

一昨日の返却場所
返しません。さわ
りません。
(放置3日目)
↓
棚へもどす

新しい学校様式にともなう、ご家庭へのお願い

けずった鉛筆、5本！
※共用をさけるため、教室
の鉛筆削りは使いません。

清潔な
ハンカチ
※清潔を保つ
ために

十分な睡眠・適度な運動・バ
ランスのとれた食事で、抵抗
力・免疫力を高める生活習慣

毎朝の検温、健康観察
表への記入・押印

発熱があるとき、熱がなく
てもかぜ症状のあるとき
は、無理をせずに休む

家でも、
こまめな手
洗い・換気

距離を保つ
話を
家庭でも

新しいこと

家族ぐるみの交流による接触
を控える

これからもお願いしたいこと

友だちの家に遊
びに行くことは
控える

ランドセルには、なるべく
予備のマスクを！

家族で、感染者、濃厚接触
者、体調不良者が出た場合
は、学校へ連絡を！

外出時、会話時は症
状がなくてもマスク
を着用

休日でも不
要・不急の外
出は控える

学校で発熱、体調不
良の症状が出た場合
のお迎え

帰宅後の手洗い・
顔洗い

